

項目

1. 国内

2. 輸入

供給

1. 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会、6月下旬取り纏め)によると平成29年5月単月の推計実績は、前月5月時点での計画から入雛羽数は下回った(計画差△186千羽)ものの処理羽数(同+425千羽)、処理重量(同+4.976㌧)とも大きく上回った。前年同月比でみると、入雛羽数は北部九州地区で下回った(98.2%)ものの全国推計では102.9%と上回った。大腸菌症等疾病の影響を受けた産地も気温の上昇とともに成績が改善され、地域でバラつきはあるものの処理羽数は101.9%と上回り、処理重量においては計画比102.9%、前年比102.4%とすべての地域で上回った。

(2) 6-8月の計画は、入雛羽数・処理羽数・処理重量すべてにおいて前年を僅かに上回る見込みとなっている。例年7～8月は夏場対策のため、坪羽数や稼働日減少により処理羽数・処理重量が減少するが、今夏は猛暑との予測で台風の影響も懸念されるなか、8月度計画で南九州地区のみ処理羽数および処理重量が前年割れの計画というのが気になるところである。

1. 輸入鶏肉の5月通関実績は、前月に比べ約2.6千㌧減少の46.1千㌧、1-5月累計では209.7千㌧で前年比89.6%と減少となった。国別では、ブラジルがオファー高の影響等で前年から3.4千㌧減少(前年比90.8%)、1-5月累計も153.6千㌧で前年の約8割と減少した。タイは1-5月累計では45千㌧で前年比123%と増加しており、要因としては骨付ももの増加(累計255㌧)が挙げられる。アメリカの1-5月累計は6.6千㌧で前年より0.2千㌧増加も骨付もものは1.6千㌧減少。日本食肉輸出入協会の輸入動向検討委員会(6月19日開催)によると6月は全体で45.2千㌧、7月が45.1千㌧との予測となっており、内ブラジルは各月とも前年を下回るが、タイの6月は前年を上回る見通しとなっている。

(2) 鶏肉調整品の1-5月累計は、タイが前年より14.5千㌧増加の111.1千㌧、中国も前年より7千㌧増加の66.7千㌧と共に増加しており、相変わらず量販店・コンビニ向け等の焼鳥・フライドチキンの販売拡大が要因と思われる。

1. 家計消費

2. 量販・卸

3. 業務・加工筋

需要

(1) 総務省家計調査による平成29年5月の全国一世帯当たりの鶏肉消費(購入)量は、前年比98.9%の1,316㌔、購入金額は前年比102.7%の1,287円となり、消費(購入)量は前年から下回ったものの金額は前年を若干上回り、国産鶏肉販売の好調を裏付けるかたちとなった。牛肉の購入量・購入金額は前月比で共に増加し、豚肉の購入量は前月比で減少も購入金額は増加と報告されている。今後も夏場に向け鶏肉はサラダ素材のむね肉・ささみ、牛肉・豚肉は焼き肉用素材の消費が増加するものと思われる。

(1) 日本チェーンストア協会によると5月の総販売額は前年比98.2%、食料品全体も同98.6%と下回ったが前月比では上回った(102.4%)。畜産品は同100.3%(前月比103.7%)と、牛肉・豚肉・鶏肉の動きは良いと報告されている。鶏肉についてはもも肉は落ち着いてきたものの、むね肉・手羽さき・手羽もとは依然好調を維持している。

(1) 量販店でのむね肉の需要が依然好調で生鮮品・凍結品とも品薄状態が続いている。夏場に向けさらに需要が高まる状況で、加工筋は原料手当てに苦慮し、相場も330円台とコスト的に厳しい状況が続いている。ブラジルは外貨高といわれ、今後に不透明感があり、先物の買付に苦戦している状況であることから、当面この状況は続くと思われる。

1. 29年4月

2. 見通し

在庫

(1) 平成29年4月の推定期末在庫数量について、国産は生育好調による生産量増加で前月比・前年比とも上回った。輸入品においては輸入量の減少、需要好調の継続により前月比・前年比とも大幅に下回った。

(1) 国産在庫は、生鮮での堅調な需要は維持しているが、5月以降も生産が良好なことから供給量も増加し、年末等に向けた在庫の積み増し含め若干の増加が見込まれる。

(2) (独)農畜産業振興機構が公表した「鶏肉の需給予測」によると、3ヶ月平均(5-7月)の生産量は前年同期並み(100.1%)、輸入量は前年同期より減少(97.3%)、出回り量は過去の月別実績をもとに推計した結果、6月は前年同月並み(99.8%)、7月は前年同月より微減(99.3%)としている。期末在庫は6月146.5千㌧(前年比87.2%)、7月143.3千㌧(同85.4%)と大幅に下回ると予測されている。

1. 6月動向

2. 7月見通

相場

(1) 6月の相場は、もも肉627円/kg(前月比18円下げ)・むね肉338円/kg(前月比1円上げ)、正肉合計965円/kg(前月比17円下げ)となった。しかし、むね肉相場は旺盛な需要に支えられ、前年比40.8%高と相変わらず高原相場が継続している。

(1) もも肉の6月最終相場は609円と月初めの639円から30円下げとなった。今夏は猛暑との予測もあり、後半は夏休みに入り学校給食等の需要も下がるため600円を挟んだ展開が予想される。むね肉については6月最終相場334円で月初めの341円から7円下がったものの依然330円台を維持しており、この傾向は7月も持続し330円台の保合いと予想する。

生産状況

輸入動向

消費動向(2人以上の世帯)

在庫状況

相場(月別)

単位:千羽、千トン、%

	H29年5月推計実績		H29推計合計		29年6月計画		29年7月計画		29年8月計画	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
入雛羽数	59,038	102.9%	293,837	99.8%	57,974	101.5%	57,418	100.1%	62,772	100.3%
処理羽数	57,507	101.9%	280,130	99.7%	57,720	101.9%	54,896	101.3%	55,490	100.5%
処理重量	174.5	102.4%	837.7	99.9%	171.7	101.1%	160.6	100.5%	161.0	100.9%

※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」

単位:千トン、%

品名	鶏肉			調製品			合計			比率	
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品
H29年2月	45.8	47.4	96.5	27.5	29.1	94.2	73.2	76.5	95.7	62.5	37.5
H29年3月	37.3	44.4	84.1	39.9	31.1	128.2	77.2	75.5	102.3	48.3	51.7
H29年4月	48.7	47.2	103.3	36.7	33.5	109.4	85.4	80.7	105.8	57.0	43.0
H29年5月	46.1	46.5	99.1	38.9	33.1	117.6	85.0	79.6	106.8	54.2	45.8
H29年合計	209.7	233.9	89.6	179.7	157.2	114.3	389.4	391.2	99.5	53.8	46.2

※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」、全国食鳥新聞

単位:グラム、円、%

履歴	数量			金額		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H29年3月	1,385	1,433	96.7	1,307	1,302	100.4
H29年4月	1,327	1,303	101.8	1,268	1,226	103.4
H29年5月	1,316	1,331	98.9	1,287	1,253	102.7
H29年平均	1,349	1,345	100.3	1,287	1,289	99.8

※参考資料:総務省統計局HP

単位:千トン、%

履歴	国産			輸入品			合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H29年1月	22.8	23.4	97.5	114.4	123.9	92.3	137.2	147.3	93.1
H29年2月	23.9	21.7	110.2	115.4	135.2	85.3	139.3	157.0	88.7
H29年3月	23.1	23.2	99.6	112.7	133.3	84.5	135.8	156.4	86.8
H29年4月	25.2	24.7	102.0	110.6	131.6	84.0	135.8	156.3	86.9

※実績参考資料:畜産日報、農畜産業振興機構

単位:円、%

品名	もも肉			むね肉			正肉合計		
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H29年3月	674	617	109.2	313	256	122.3	987	873	113.1
H29年4月	658	612	107.5	325	250	130.0	983	862	114.0
H29年5月	645	613	105.2	337	248	135.9	982	861	114.1
H29年6月	627	601	104.3	338	240	140.8	965	841	114.7
H29年7月	(600)	594	101.0	(335)	239	140.2	(935)	833	112.2
H29年8月	(590)	587	100.5	(330)	240	137.5	(920)	827	111.2
H29年平均	662	621	106.6	308	255	120.8	970	876	110.7

※()は見通し